

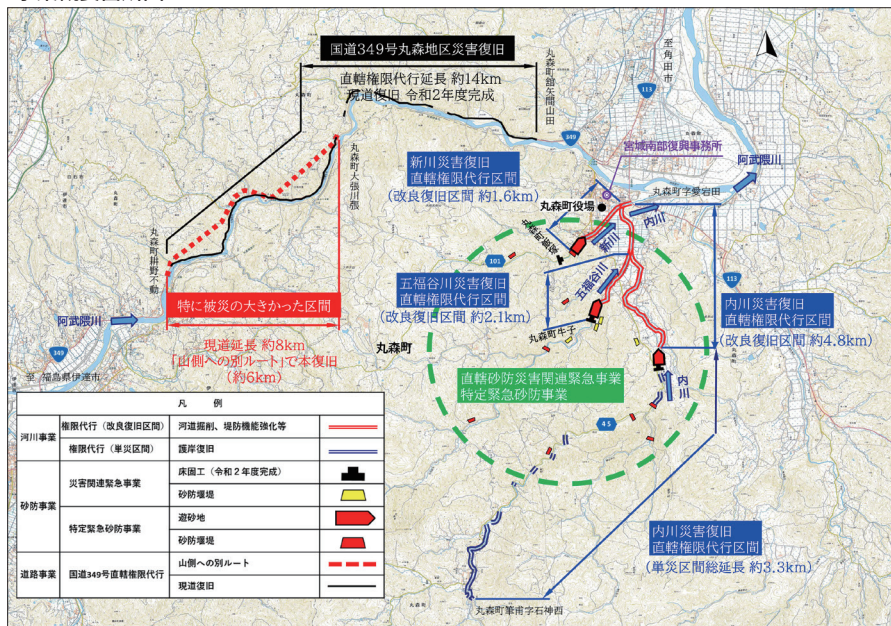
令和元年東日本台風からの復旧・復興を強力に推進

—— 河川事業について

国土交通省 東北地方整備局
宮城南部復興事務所長 堀井 一保



事業概要箇所図



事務所長以下職員 41 名の体制で復旧・復興事業に取り組んでおります。

河川災害復旧工事（直轄権限代行）【阿武隈川水系内川、五福谷川及び新川】

・事業概要：流下能力を向上させるため「河道掘削」を行うとともに、計画規模を越える洪水に対する「堤防機能の強化」を図るなどの改良工事を実施。

・事業費：約 218 億円

・事業期間：令和元年～令和 6 年度

・実施区間：改良復旧区間_約 8.5km、単災区間_約 3.3km

令和元年東日本台風による発災後の応急復旧に引き続き、本復旧についても、宮城県知事から要請を受けて国が権限代行で実施しております。

改良復旧区間（約 8.5 km）では、宮城県の技術検討会での復旧計画により、治水安全度を 1/10 相当より 1/30 相当に整備し、また、堤防機能の強化を図ることとしており、河道掘削、堤防整備等を実施します。

また、単災区間（約 3.3km）については、令和 4 年度末に護岸復旧が完了しました。

現在、河道掘削は目標流下能力に対して、概ね完了しており、今年度は、計画規模を超えるような大洪水が発生した時に堤防を越水しても堤防が

はじめに

令和元年東日本台風により、宮城県伊具郡丸森町では、最大雨量 587.5mm/24hr（丸森町筆甫観測所）に達する既往最大の豪雨により多数の土砂災害や洪水被害（河川決壊 18 箇所、河道埋塞 2 箇所）が発生し、死

者 11 名（災害関連死含む）、行方不明者 1 名などの人的被害や浸水面積約 224ha、住宅、公共・農林施設など甚大な被害を受けました。

「宮城南部復興事務所」は、この災害により大きな被害を受けた丸森町の河川・砂防・道路の災害復旧の更



出水状況 令和元年 11 月 13 日の状況

なる加速化及び地域の皆様や関係機関との一層の強力な連携を図るため、令和 2 年 4 月 1 日に丸森町に新設された事務所、今年で 4 年目になります。

